

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は格別に残暑が厳しいようですが、お元気

にお過ごしですか。高温多湿にも負けないコロナウイルスに対して対策を講じておりましたが熱中症で体調を崩す方々が続出している状況に、マスクをしたり外したりと格闘している毎日です。時節柄、お身体ご自愛下さい。

## サンライズの物語

### 介護とは何か——

### 介護と医療、連携の物語



その方は、息子さんと二人暮らしでしたが、認知機能が低下傾向にありオムツ交換に毎日訪問していた方でした。

こんな表現は失礼かも知れませんが、とてもチャームングで訪問するヘルパーが排泄介助を行う度に「ありがとう。とても気持ちいいよ」と繰り返し言っていた方でした。

そんな中少しずつ食欲も低下し水分も摂れなくなり毎日点滴をしていました。ヘルパーが少しでも経口から摂取できないかと口へ軟食を運んでいたのです。

訪問診療や訪問看護からは余命宣告をされておりましたが、介護職、医療職の連携が功を奏した結果、驚く程、命を繋げていました。

最後まで「ありがとう」を繰り返し言い続けていた方でしたが静かに目を閉じたのです。自宅で看取る悲しさ、辛さに寄り添う。

介護とは・・・一人一人の人生の最後に全力で色々な職種が力を合わせる事だと考えます。

# サンライズのデイサービス陽光だより

【介護職員】  
関根 可奈子



サンライズのデイサービス陽光の介護職員の関根です。  
がんばります！

【血液型OよりのB】



井上から  
エール！

8月より入職した職員ですが以前も他のデイへ務めた経験がありお一人お一人のご利用者様への対応も良く今後の活躍に期待が持てる人材です。

## 介護に役立つ書籍紹介

### こころの絆 わたしの介護体験記

編：聖教新聞社文化部

聖教新聞の好評連載が待望の単行本化！

紙上に掲載された100名の体験記を書籍化。

介護する側、される側、家族や周りの人々が、それぞれどのように激励し、苦難を乗り越えていったかなまの声をお届けする。

同じ境遇の人々に勇気をお届けします。



## NEWS 今月のニュース

### 疫病退散を祈り、花火を打ち上げ「地元を元気に」 京都・嵯峨嵐山

京都市右京区と西京区の嵯峨嵐山地域で22日夜、新型コロナウイルスの収束を願って花火が打ち上げられた。大堰川にかかる渡月橋近くで約3分間にわたって65発の色とりどりの光が闇夜を照らし、訪れた観光客や地元住民から歓声や拍手が上がった。

感染症拡大の影響により、客足が激減して活気がなくなった地元

を元気づけようと、嵐山商店街が主催した。午後5時過ぎから激しい雷雨が降る時間帯もあったが、直前にはやんで無事に行われた。

感染対策のため、渡月橋など同じ場所に人が密集しないよう商店街のスタッフらが注意を呼び掛けた。マスクを着けてない人には無料で配布した。

友人と訪れた介護士の女性(49)は「今年は夏のイベントがほとんど中止になって残念に思っていたが、地元で綺麗な花

火を見ることができてうれしかった」と笑顔で話した。



<京都新聞  
2020年8月22日(土)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>